

# 競技方法および大会規定

## <出場資格>

- (1) 滋賀県高体連サッカー専門部登録校の1・2年生加盟登録選手とする。
- (2) 合同チームの参加を認める(選手数、チーム数の制限なし)。

## <男子：競技方法および大会規定>

- (1) 参加チームを7ブロックに分け予選トーナメントを行い、ブロック代表7チーム及び全国高等学校選手権大会出場チーム、高円宮杯JFAサッカープリンスリーグ関西出場チームの計8チームによる決勝トーナメントを行う。全国高等学校選手権大会に出場するチームおよび高円宮杯JFAサッカープリンスリーグ関西出場チームは、この大会の決勝トーナメント1回戦から参加することとする。(ベスト8以上が確定)
- (2) 試合時間は70分でインターバルを10分とし、予選トーナメント戦の上位1チームが決勝トーナメントに進む。予選Tから決勝Tで勝敗の決しないときは、ペナルティーキック(PK)方式によって次回戦に進むチームを決定する。ただし、決勝トーナメント以降は延長戦(10-10)後、勝敗が決しない場合、PK戦で勝敗を決する。棄権の場合は不戦敗とする。
- (3) 選手交代は最大6名までとし、回数の制限はなしとする。ただし、準決勝以降は近畿大会に準ずる。交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部運営委員または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインより入ること。
- (4) 選手エントリーは日本サッカー協会登録選手であればフリーとし、試合ごとにメンバー用紙で先発選手11名と交代要員9名以内の登録を行う。なお統一されたユニフォーム(カラー、デザイン、プリント等)を使用すること。(背番号26以上の背番号でもかまわない。)
- (5) 試合開始30分前までに、メンバー用紙に交代要員(最大9名まで)を含む必要事項を記入して、JFA発行の選手証を添えて本部および相手チーム用の2部を提出しなければならない。本人確認ができない場合、その選手は出場できない。また準決勝・決勝は試合開始70分前にMCMを行う。その際にユニフォーム、メンバー用紙、選手証を大会本部まで持参すること。
- (6) ベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、チーム役員6名とし、メンバー用紙にて特定されなければならない。また、ベンチに入るスタッフには順位をつけなければならない。特定された者の中から、その都度1名の者のみが戦術的指示を与えることができる。この1名の者は特定の1名に限定される必要はない。
- (7) 本大会において主審より退場を命じられた選手・役員等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。出場停止を受けた場合、フィールド、ベンチ、ロッカールーム等の区域に立ち入ることを禁止する。観客席で観戦することは認められているが、他の選手への指示は禁止する。
- (8) ボールについては予選トーナメント4球、決勝トーナメントは5球マルチボールシステムで行う。(試合球 Vantaggio、ALMUNDO)
- (9) 本大会において累積された警告が2回となった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (10) その他は「日本サッカー協会競技規則」による。
- (11) 決勝トーナメント進出校決定後、降雪等による危機事象により審判員や大会本部より試合が中止された場合、大会本部の判断で残り時間の消化により試合を成立させることもある。さらに、施設面、安全管理面、日程面等で再試合が不可能な場合、大会本部において試合を成立させることとする。また降雪等のため試合途中で中止を決定した際、再試合は実施しない。
- (12) 今大会の最終成績上位16チームを次年度の春季高校総体においてシード校とする。
- (13) 今大会の優勝チーム、準優勝チームは令和6年2月に実施される近畿高等学校サッカー選手権大会への出場権を得る。

## <本大会のシードについて>

本大会のシードは選手権大会出場チーム及び今年度高円宮杯JFAプリンスリーグ関西出場チーム、また今年度高円宮杯U18滋賀リーグ上位チームとする。

**\*シード校\* (選手権出場・プリンスリーグ出場) 近江**

**(A) 草津東 (B) 水口 (C) 比叡山 (D) 立命館守山 (E) 綾羽 (F) 野洲 (G) 八幡商業**

## <女子：競技方法および大会規定>

- (1) 試合時間は60分でインターバルを10分とする。勝敗の決しないときは、ペナルティーキック(PK)方式によって勝者を決定する。棄権の場合は不戦敗とする。
- (2) 選手交代は最大6名までとし、回数の制限はなしとする。交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部運営委員または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインより入ること。
- (3) その他のことについては、【男子：競技方法および大会規定】の(4)～(10)に準ずる。